

(特活)エコ・リンク・アソシエーションのノウハウ移転事業について

1. 事業モデル名：民泊型教育旅行受入ビジネス

2. 事業者の概要

補助事業者名：特定非営利活動法人 エコ・リンク・アソシエーション

所在地：鹿児島県南さつま市

取り組んでいる社会的課題：過疎・高齢化、第一次産業の衰退に伴う地域資源の保全管理の危機等
地域経済の衰退課題への取組：

鹿児島県に存在する自然、文化、伝統、人を活かした民泊型教育旅行の体験プログラムを企画し実践することで、旅行をコーディネートする人材及び受入れる人材の育成と多様な体験プログラムの発掘並びにブラッシュアップに取り組み、民泊型教育旅行受入ビジネスを通じた都市と農山漁村の交流促進、地域の「心」と「人」と「経済」の活性化に取り組んでいる。

3. 事業モデルの革新的な点・成功の秘訣：地域社会の課題解決に向け、民泊型教育旅行を題材とした各種ビジネスに果敢に取り組むと同時に、地域（集落）の次世代の担い手づくりに取り組んでいる。

4. 移転先：

さつま町グリーン・ツーリズム研究会（鹿児島県さつま市）：体験型民宿を中心に活動しグリーン・ツーリズムに積極的
NPO法人霧島食育研究会(鹿児島県霧島市)：郷土料理の継承、個人や地域での健康づくり等生活スタイルの提唱をしている
NPO法人くすの木自然館(鹿児島県始良市)：身近な自然環境を後の人々に伝えていく環境事業を行っている
NPO法人ローズリングかのや(鹿児島県鹿屋市)：大隅に点在している観光拠点や産業を掘り起こし、誘客を図っている
NPO法人ジュントス(鹿児島県西之表市)：種子島の観光ボランティアガイドの養成、特産品の開発



坊津町泊／唐カラ船まつり



お田植え体験

事業終了後、次の取り組みを行い、鹿児島県内5ブロックに各1万人の教育旅行受入を目指す

- ・民泊型教育旅行誘致の販促キャンペーン
- ・旅行会社等を対象としたモニターツアー
- ・グリーン・フルー・エコツーリズム担い手養成塾
- ・継続的な地域連携システム整備
- ・民泊受入先の新規人材を対象とした研修
- ・グリーン・フルー・ツーリズム資源創出事業
- ・都市住民の多様なニーズに対応する良質な観光資源の提供